

松戸北ロータリークラブ会報

ゴルフ同好会より、納会コンペの様子



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 72.2%

第2394回 例会 2023年6月14日(水)

- | | |
|---------------------------|--|
| ■ 国際ロータリー会長 シェンファー・E・ジョンズ | ■ 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■ 第2790地区ガバナー 小倉 純夫 | ■ 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■ 第13Gガバナー補佐 高橋 竜一 | ■ 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明 | ■ TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■ 松戸北ロータリークラブ幹事 大塚 精一 | ■ Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<第2394回 例会プログラム>

司会 高橋一彦会員

12:50 点鐘 ロータリーソング静聴 【♪我等の生業】	大川高明会長
12:53 お客様紹介	小澤直之会長エレクト
12:55 会長挨拶 幹事報告	大川高明会長 大塚精一幹事
13:00 13グループ ガバナー補佐挨拶	AG 高橋竜一様
13:10 活動成果報告①	研修リーダー 各委員会委員長
13:25 【委員会報告】	
■出席親睦委員会 諸事御祝・本日の出席率発表	平田洋一委員長
■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	野澤新之助委員長
■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	小林弘委員長
13:30 点鐘	大川高明会長



<会長挨拶>

皆さんこんにちは。個人的なことですが2回目の手術後一ヶ月がたち手術の痛みがほとんど無くなりました。ただ体力がかなり落ちていてまだ動くのがつらい状況です。

本日は高橋竜一ガバナー補佐の最後の訪問です。よろしくお願い致します。ガバナー補佐には1年間ご指導ありがとうございました。

千葉県は、明治6（1873）年6月15日に当時の木更津県、印旛県の両県が合併して誕生しました。そして、令和5（2023）年は千葉県誕生150周年です。松戸市は、令和5年4月1日に市制施行80周年を迎えています。

- 江戸時代の房総には、江戸から近いということもあって、幕府直轄地・藩領・旗本領が複雑に配置されており、幕末には佐倉藩・大多喜藩・館山藩など17の藩がありました（明治元年に請西藩は廃止）。明治初年には、これらに駿河（するが）や遠江（とおとうみ）いずれも現在の静岡県から房総に領地を移された鶴舞藩・長尾藩などの7藩と曾我野（そがの）藩・大網藩が加わり、25藩となりました。
- 明治4年（1871年）11月に行われた県の統廃合によって、房総にあった26県は印旛県・木更津県・新治県の3県になりました。印旛県は下総国の西北部を、木更津県は上総国と安房国を、新治県は下総国の東部と常陸国（現在の茨城県）の南部を管轄しました。

大川高明会長



次ページへ続く

<諸事御祝&ニコニコ>

13グループ ガバナー補佐 高橋竜一様
1年間大変お世話になりました。



吉田 俊一会員 昭和10年6月1日生まれ
いよいよ米寿になりました。連日子供、孫たちによるお祝いをして頂きました。これからの目標はロータリーの例会出席と、ゴルフ年20回。



鈴木 悦朗会員
ご夫人誕生日お祝い（6月23日）

家内の誕生日祝いありがとうございます。
何とか仲良くやっています（^^）

小林 辰幸会員 昭和39年6月2日生まれ
お誕生日祝いありがとうございました。
59歳になりました。還暦まで1年、50代ラストイヤー、健康に気を付けて生活してまいります。
本日は13グループガバナー補佐 高橋竜一様1年間ありがとうございました。



小澤 直之会員
ご夫人誕生日お祝い（6月20日）

妻の誕生日祝いありがとうございます。

小椋 伸也会員
ご夫人誕生日お祝い（6月2日）

妻の誕生日のお祝いありがとうございました。
23才の頃に結婚して今や38才。
年輪のようにシワも増えました。



WEEKLY REPORT

また、梨を獲った子ども達の輝くような、嬉しそうな笑顔を見ると、参加した喜びがさらに倍増します。昨年は、梨狩りの後、子ども達や親御さん達から、温かいお礼のお手紙や写真を頂きました。次年度は、野澤委員長の努力により、地区の補助金も頂けることになりました。是非、北クラブの看板活動の一つとして、今後も継続していけると良いと思います。

また、小金小学校の生徒さんたちの「わくわく探検隊」の支援にも参加しました。これは鈴木会員がずっと小金の子供達のために継続している事業ですが、子供達が相違工夫を凝らしてクイズや街の案内を考えるなど、小金の街の歴史を知って、街への愛着が深まる良い企画だと思います。北クラブとしても、もう少し突っ込んだ参加ができると良いと思います。

また、今週の土曜日に、昨年度に続いて、小金南地区子供会主催の運動会に協賛させて頂きます。この子供会は、年間を通じて活発な活動をしています。こういう機会を通じて子供達は成長するのだと思います。

残念なのは、諸般の事情により、今年度、RYLAへの不参加を決定したことです。参加を表明して下さっていた小林会員にも大変、ご迷惑をおかけしました。また、ご検討くださった千葉興業銀行の岡本会員にも、お礼を申し上げます。来年度には、是非、実行されることを期待致します。

また青少年奉仕には、他にもいろんな活動があります。次年度は、それらにもチャレンジしてみたいかでしょうか？

日本の人口減少が進む中、青少年奉仕の活動として、次世代のリーダーに育つような若者を育成していくことがとても大事だと思います。皆様、本年度もご協力、誠に有難うございました。

<活動成果報告①>

関征啓国際奉仕委員長

こんにちは、国際奉仕委員長の関です。

「コロナ共存時代の中、今後継続的にできる国際貢献をクラブ総意で作るきっかけを作ります。」と目標を掲げましたが、全然出来ませんでした。

次年度の「TSUNAGU2790」を次年度の委員長のお手伝いを頑張ります。

1年間ありがとうございました。



WEEKLY REPORT

また、印旛県の県庁は葛飾郡加(か)村(現在の流山市加)に、木更津県の県庁は望陀(もうだ)郡貝淵村(現在の木更津市貝淵)に、新治県の県庁は新治郡土浦町(現在の茨城県土浦市)に設置されました。

・明治6年(1873年)6月15日、印旛県と木更津県とが合併し、千葉県が設置されました。権令(ごんれい:同年6月29日から県令、現在の知事)には、木更津県と印旛県の権令であった柴原和(しばはらやわら)が任命され、県庁は千葉郡千葉町(現在の千葉市中央区)に置かれました。

・明治8年(1875年)5月7日、新治県が廃止され、これまで新治県に管轄されていた香取・匝瑳・海上の3郡が千葉県に編入されました。

また、同日、千葉県が管轄していた6郡(猿島、結城、岡田、豊田の4郡及び葛飾郡、相馬郡の一部)が茨城県に編入されました。

さらに、葛飾郡の一部は同年8月30日にも、埼玉県に編入されました。

これにより、千葉県は現在とほぼ同じかたちになりました(その後、明治32年に香取郡の利根川北岸地域の茨城県への移管などが行われています)。

本日から各委員長より成果報告があります。この報告は次年度への引き継ぎともなりますので次年度委員長は特に確認をお願い致します。

最後に先週の理事会で承認されました3人の新会員の確認もよろしくお願い致します。

<幹事報告>

大塚精一幹事

皆さんこんにちは、幹事報告を申し上げます。

市施行80周年。

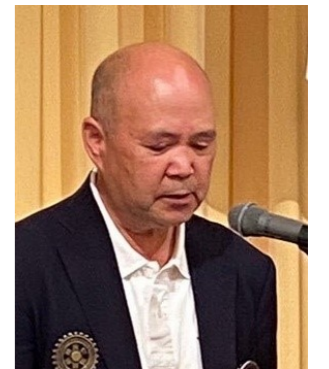
千葉県誕生150周年記念松戸花火大会イン2023開催に掛かる御協賛のお願いについて

松戸花火大会実行委員会

会長本郷谷健次様から

2023年8月5日(土)7:15から8:45まで 江戸川河川敷

協賛金 1口10,000円から



<13グループ ガバナー補佐挨拶>

AG 高橋竜一様

皆様、こんにちは。今年度も残すところあと半月ほどとなりました。ガバナー補佐としてのクラブ訪問も今回が最後になります。地区での第1回ガバナー補佐会議は2021年10月に開催されましたので、予定者の期間を含めて約1年半務めさせて頂きました。

ガバナー補佐は、地区とクラブとのコミュニケーションの仲介役としての役割が重要と言われておりましたので、ガバナー補佐会議と地区委員長会議が開催されたあとは、内容をなるべく早くまとめ、グループ内の会長・幹事様にお知らせしたつもりです。また、問い合わせ等には早いレスポンスを心掛けておりました。しかし、至らない点も多々あったかと思いますが、ご容赦頂ければと思います。



次ページへ続く

WEEKLY REPORT

さて、今年度は、RI会長のジェニファー・ジョーンズ氏が、「イマジンロータリー」をテーマとされ、DEIの推進が本格的に始まった年度でした。

そして、地区では「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう」という小倉ガバナーのスローガンを基に1年間やってまいりました。

小倉ガバナーは、昨年の地区研修・協議会の中で「ガバナーと地区の最大の任務は、地区内クラブを活性化すること、元気なクラブ作りを支援することに尽きる」と述べられていました。

「元気なクラブ作り」の成果はそれぞれのクラブや個人で違うと思いますが、今年度、コロナ禍がまだ終わらない中でも、松戸北ロータリークラブ様は素晴らしい奉仕活動をされており、敬意を表したいと思います。私の所属している松戸東ロータリークラブにとっても見習うべき点が多く、大変参考になりました。

さらに小倉ガバナーは、「地区としてグループ再編問題、ガバナー補佐任命問題によって失われてしまった地区とクラブ・会員間との信頼関係の再構築をする」ことを任務の1つとされておりましたが、この点におきましても小倉ガバナーは、着実に成果を出されているのではないかと思います。

その1つに、月信5月号にも掲載されておりましたが、小倉ガバナーは、地区のホームページに第2790地区の「意見箱」を作成されました。匿名でもよいという事です。ガバナーが回答されるとのことですので、ご意見がある方は是非ご利用されてはいかがでしょうか。

グループ内での一年を振り返ってみますと、昨年の夏と年末は新型コロナの感染拡大が第7波と第8波のピークとなる状況となり、ロータリー情報研修会やIMが開催できるか冷や冷やした場面もございましたが、Zoomの併用などによって何とか開催することができました。また、ガバナー公式訪問、5クラブ親睦ゴルフ大会も一通りの行事が中止せず開催できましたことに、ほっとしております。

心残りと言え、懇親会が出来なかった事でしょうか。しかし、次年度のガバナー補佐であります鈴木悦朗様によると懇親会もされるとお聞きしていますので、楽しみにしております。

最後に会長大川高明様、幹事大塚精一様をはじめとする松戸北ロータリークラブの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

そして松戸北ロータリークラブ様の益々のご発展をご祈念申し上げます。まだ少し任期は残っておりますが、御礼を申し上げます。

一年間ありがとうございました。



メイキャップ風景
東京日本橋ロータリークラブ

鈴木悦朗会員 小澤直之会員
三村藤明会員 平野嵩広会員



WEEKLY REPORT

<活動成果報告①>

成果報告として

本年度 活動計画として

<目標>

ダイバーシティA.C千葉への支援継続と新規奉仕活動の実施。

<活動計画>

昨年行った奉仕事業フォーラムをもとに候補となった『クリーン作戦』『いも掘り』の実現に向けて具体的計画を委員会で行い、それを理事会、クラブで協議し実現への足掛かりとしていきます。と計画いたしました。

それを踏まえてまず初めにダイバーシティA.C千葉へ支援を行いました。

令和4年7月13日 練習場にて水筒の寄贈 メンバー分

野澤新之助社会奉仕委員長



続いて新規奉仕事業の実施として取り組んだものは、市内小学校なかよし学級の児童への梨狩り体験支援です。年度初めに奉仕事業フォーラムを行い、事業を決めて小学校の先生方と入念に打ち合わせなどを行い、不安要素を解消して当日に臨み満足のいく成果をあげられたと思います。

そして梨狩り体験の継続事業化に向けての取り組みをおこないました。実施予定時期が次年度となるため、今年に入ってから次年度会長となる会長エレクトとも打ち合わせを行いました。

対象校を栗ヶ沢小学校、小金小学校と定め、実施日を9月13日(水)として計画をしています。

地区補助金の申請に必要なセミナーにも出席して準備を進めてまいりました。

申請書類には、支援事業の概要説明からはじまり、財政的支援以外の具体的支援内容や支援から期待できる影響や効果、予算などを詳細に記載し3月末に地区へ提出しました。

4月23日に地区財団委員会及び地区奉仕プロジェクト委員会合同で、最終の補助金選考会（地区審査会）が開催され、補助金選考会を合格通過したとメールにて報告をいただきました。本年度中の実行成果は以上となりますが、次年度の梨狩りの実施、補助金の交付、報告など引き継ぐことは幾つもありますが、次年度委員長とサポートしながら支援事業が継続化するように努めてまいります。

以上、私からの成果報告とさせていただきます。ありがとうございました。

<活動成果報告①>

三村青少年奉仕委員長

皆様、こんにちは。今年度の青少年奉仕委員長の三村です。鈴木悦郎副委員長、織田証委員の3名が今年度の構成です。

今年度の活動計画は、①RYLAへ参加する。②社会奉仕委員会と連携して、青少年育成および支援の機会を設ける。③「わくわく探検隊」の支援を行う。④地域の子ども会の運動会等の賞品提供等の支援を行う、の4つでした。

野澤社会奉仕委員長のご報告にもあったとおり、社会奉仕委員会への協賛という形で、栗ヶ沢小学校のなかよし学級の子ども達の梨狩り体験を実行しました。マンツーマンで援助をするので、担当になった子供さんと当然のように仲良くなります。



次ページへ続く

WEEKLY REPORT

リッツカールトンのクレド、大谷翔平目標設定曼荼羅、4つのテスト、お寺の掲示板の言葉など、人に喜ばれることをするロータリーの経営哲学をさまざまな事例から学んだ。

- コロナ禍がある程度収まった段階で、参加者を募集し、他クラブにメーキャップし他クラブの例会運営を学ぶとともに、クラブ内だけでなく、広くロータリアンとの交流の機会をつくる。

①2023年4月27日（木）12：30より 同伴者 小澤直之会長エレクト
訪問先：東京中央ロータリークラブ（例会場：東京帝国ホテル「光の間」）
当日の卓話：ジュエリーに永遠の美を求めて
アルビオンアート株式会社代表取締役 有川 一三様

②2023年6月13日（火）12：30より
同伴者 小澤直之会長エレクト、三村藤明次期研修リーダー、平野崇広会員
訪問先：東京日本橋ロータリークラブ（例会場：パレスホテル東京「山吹」）
当日の卓話：日本を代表するソプラノ歌手、森谷真理さんの卓話
その後、三村会員のご厚意で三村会員の素晴らしい職場の見学を行いました。

コロナ禍も収束して、他クラブの例会の様子が体感でき、また名刺交換など交流が持てるメーキャップができてよかったと思う。やはり百聞は一見に如かずである。

- 次期リーダー・希望者を地区のRLI研修会に派遣する。
RLIは、拘束時間は長いですが、ロータリークラブの哲学や人の意見を引き出すファシリテートの技術を少しは身につけられると思います。若い会員に声をかけていて参加表明いただいているが、今行われているのはDL対象であり、パート1パート2の研修をするタイミングが2月と遅く待っている状態である。

<活動成果報告①>

柳孝実クラブ奉仕委員長

今年度クラブ奉仕委員長を務めさせていただいた柳孝実です。平田副委員長、小林弘委員、高橋一彦委員、小澤直之委員、岡本真理子委員と共に活動して参りました。

会長幹事、傘下の各委員会と連携を取りながら、会員が出席したくなる例会作り、入会候補者が入会したくなる魅力あるクラブ作り
に貢献していくことがクラブ奉仕の役目と考え目標に掲げました。

しかし昔から新人歓迎会をやっている委員会というイメージがなく、本当にやるべきことが見えないままスタートしてしまいました。

当初はクラブ奉仕は裏から各委員会を支援し、クラブ運営を支えていく存在というイメージでしたが、色々な方と話をさせていただき、もっと表に出て活動していくほうが、クラブが活性化し良い方向に向かっていくということに終盤で気付きました。年度の初めからこのことに気付いていれば、もっといろいろな活動を積極的に行えたかもしれないと感じています。

しかし終盤で気付けたお陰で外部講師例会には職業奉仕委員会、増強委員会と積極的に連携しかかわっていくこともできました。このような連携をもっと各委員会と取っていただければよかったと感じています。今後クラブ奉仕委員長に就任される方々のためにも、何をしているのかよく分からない委員会ではなく、クラブの運営親睦の全般に関わり、中心となって活動している委員会というイメージを持っていただけるように伝えていくことも私の役目と考え実行していきたいと思っております。



<活動成果報告①>

鈴木悦朗研修リーダー

<目 標>

「ロータリーの基本と変遷を学ぼう」

ロータリー歴の浅い会員が、ロータリーの基本知識を習得するとともに、ロータリー歴の長い会員も含め、ロータリークラブで大切にすべきものと変えていかねばならないものを意見交換する。

<活動報告>

- 9月7日、11月30日、2月8日、4月19日の例会において例会内研修としてパワーポイントを用い、ロータリーの歴史や基本理念を確認、再確認してゆくとともに、RIの現在までの活動の変遷を知る研修を行った。

①9月7日の研修内容

女性初のジェニファー・ジョーンズRI会長のヒューストンでの国際大会でのスピーチの動画を北クラブの皆さんと一緒に観た。ロータリー歴の浅い会員だけでなくロータリー歴の長い会員にも、ロータリーの国際大会の様子をお伝えするとともに、「ロータリーにおけるDEI」 Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包摂性）という概念が入ってきたことを学習した。

②11月30日の研修内容

ロータリーの歴史と基本理念について

ロータリー歴の浅い会員に、1905年2月23日にシカゴロータリークラブの誕生、最初は互惠取引から始まり、ドナルドカーターの苦言、精神的骨格をつくったシェルドンやチェスレーペリーの入会、1912年にロータリーマークの制定、1915年にロータリー倫理訓の制定、1917年ロータリー財団基金設立、1920年東京ロータリークラブ設立。1923-34決議採択。関東大震災見舞い金がRIから送られる。1945年国連憲章起草への参画。1946年米山梅吉先生逝去。東京・大阪・京都・名古屋・神戸・福岡・札幌RCがRI復帰。1950年[He profits most who serves best], [Service above self]を正式標語に決定。1953年東京RCが米山奨学金制度を設立。2005年ロータリー100周年。2010年新世代奉仕が加わる。2013年「ロータリーの綱領」日本語訳が「ロータリーの目的」に呼称変更。2020年3月、RI、地区、クラブなどの会合をオンラインで行う事を容認。2021年DEIへのコミットメント声明。等の歴史の中で、変えていかねばならないものと変えてはいけないものを学習した。

③2月8日の研修内容

4月12日に50周年を迎える松戸北ロータリークラブ。その歴史を10周年記念誌、20周年記念祖、30周年記念誌、40周年記念誌や創立メンバーから提供いただいた写真を用い、北クラブの活動を振り返るとともに、入会仕立ての若い会員を含め、全員で50周年式典の成功に向けて、意欲を高めてゆく研修とした。

④4月19日の研修内容

米山梅吉先生は「例会は人生の道場」と言った。

ロータリーでいう Service とは

ロータリーの基礎にServiceをすえたのはアーサー・F・シェルドン。このServiceの意味は人のためにつくすこと。

ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば 「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

次ページへ進む

